

奈良地方気象台長からのメッセージ

奈良地方気象台のホームページをご覧ください、ありがとうございます。台長の石原洋です。昨年4月に着任し2年目を迎えました。昨年度に引き続き今年度もよろしく願いいたします。

さて、奈良地方気象台は2017年3月に奈良市半田開町から同市西紀寺町に移転し早くも3年が経ちました。この間、2017年10月の台風第21号の大雨や2018年7月の前線による大雨、2018年夏の猛暑、2019年8月の台風第10号による大雨と強風、2020年の暖冬と記録的に遅い初雪など、県民の皆様の普段の生活や経済活動に影響するものから生命・財産を脅かすものまで様々な現象が起きました。また、2018年6月には大阪府北部で起きた地震により県北西部で震度5弱を観測した市町がありました。

もう少し過去にさかのぼると、奈良県で起きた大きな自然災害といえば、2011年に県南部で死者・行方不明者24名という甚大な被害をもたらした台風第12号による記録的大雨があります。

さらに、奈良県以外に目を転じますと、2019年の台風第15号や第19号による東日本を中心とした災害が記憶に新しいところですが、毎年のように日本のどこかで大きな自然災害が発生し犠牲者が出ている様子がテレビのニュース等で報じられているところです。

自然災害はいつ自分や家族、身近な人にふりかかるかわかりません。そして自然災害による被害を最小限に抑えるためには、自助・共助・公助がうまく機能する必要があります。公助の一翼を担う奈良地方気象台では、職員一丸となり県民の皆様から頼りにされる気象台を目指して、警報や注意報などの各種防災気象情報を適時適確に発信していきます。



令和2年4月1日

奈良地方気象台長 石原 洋